

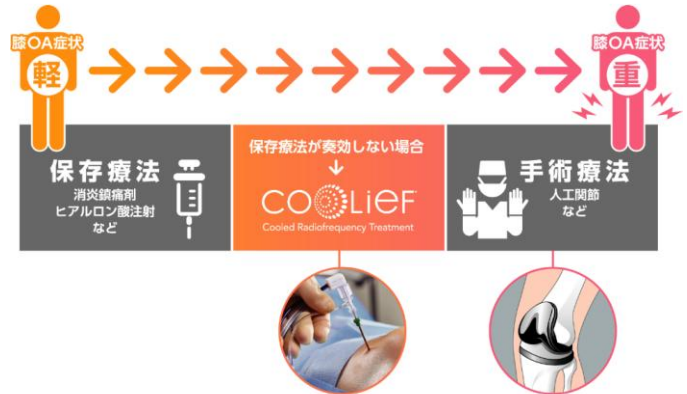
Coolief (クーリーフ)

当院では変形性膝関節症に伴う頑固な痛みの新たな治療として、2025年5月より Coolief 疼痛管理用高周波システムによる『末梢神経ラジオ波焼灼療法』を導入します。

治療の対象について

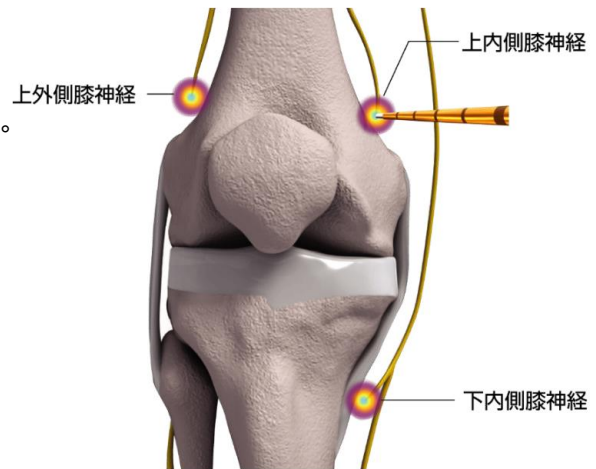
Coolief による治療は保存療法と手術療法の中間に位置する治療法です。

人工関節などの手術を受けられない方、またはヒアルロン酸注射などの従来の保存療法では疼痛が軽減しない患者さまが対象です。



膝の感覚の3つの神経を焼灼

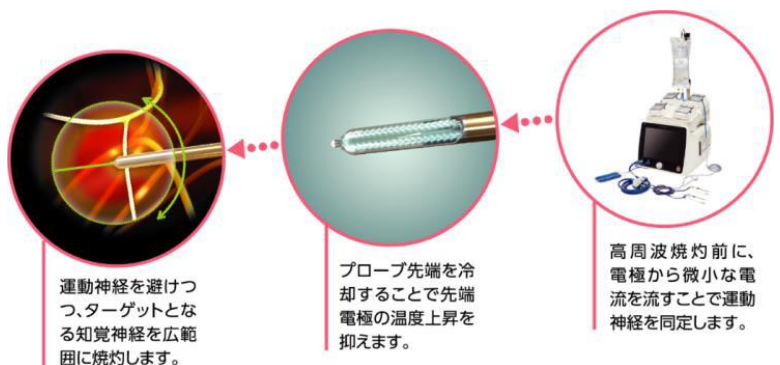
超音波エコー下で右図の3つの膝神経をターゲットに膝関節の骨に入る神経を焼却することで痛みを和らげます。



〈ターゲット〉

Coolief の原理

Coolief は針の先端から直径15mmほどの範囲を冷やしながらラジオ波で焼却します。膝周囲の神経は感覚が鈍くなり、脳に伝わる膝の痛みが軽減します。変形自体は治りませんが痛みを緩和する治療です。



よく聞かれる質問

Q Coolief 治療で麻痺になりませんか？

A Coolief 治療では膝関節に入る感覚神経（痛みを脳に送る神経）のみを選択的に遮断します。運動神経は焼却しないために原則麻痺は生じません。（運動は筋肉に入っていく神経が担います。）実際、ラジオ波で焼却する前に運動神経が巻き込まれていないかテストの電流をながして確認します。

Q 入院は必要ですか？

A Coolief 治療の大きなメリットは、片側 30 分ほどの比較的短時間での治療で日帰り治療が可能なことです。全身麻酔などは必要なく、局所麻酔で行います。治療後、経過観察ののち、帰宅していただけます。歩いて帰宅できます。両側を希望の方や御高齢で帰宅するのに不安がある方、Coolief のあとにしっかりリハビリをしたい方は状況に応じて短期入院にも対応しています。診察の際にご相談ください。

Q Coolief 治療の効果はどれくらい続きますか？

A Coolief 治療の効果には個人差がありますが、海外の報告では痛みが半分以下になる人は 6 カ月後で 74%、1 年後で 67% と報告されています。神経の再生にともなって徐々に効果は落ちますが 1~2 年は疼痛緩和効果が期待できます。治療後に痛みが再発した場合でも、1 年経過していれば再度の Coolief 治療を受けることができます。

また、痛みを軽減させることはできますが、完全に無くすことはできません。

Q 末期の変形でも受けることは可能ですか？

A Coolief 治療は末期の変形を有する患者さまでも可能です。痛みの信号を脳に伝える感覚神経をラジオ波によって遮断するためです。逆にこの治療によって変形が治癒するなどの効果はありません。

この治療法が有効かどうかは前もって局所麻酔薬による神経ブロックで判定させていただきます。

Q Coolief を受けた後に人工膝関節手術を受けてもいいですか？

A Coolief を受けた後はしばらく効果を見る必要性もあるため、原則半年間は人工関節置換術を受けないことをおすすめしています。

Q 保険診療で治療できますか？

A Coolief 治療は有効性を厚生労働省に認められ、2023 年 6 月から保険診療が可能となった治療法です。負担割合によって自己負担額が変わりますので詳しくはスタッフにお問い合わせください。

